

## 1 リン酸水素カルシウム水和物

### 2 純度試験 (2),(3) の項を次のように改める。

#### 3 純度試験

4 (2) 塩化物 本品0.20 gに水20 mL及び希硝酸13 mLを加  
5 え、必要ならば加温して溶かし、水を加えて100 mLとし、  
6 必要ならばろ過する。この液50 mLをネスラー管にとり、検  
7 液とする。別に0.01 mol/L塩酸0.70 mLをとり、希硝酸6  
8 mL及び水を加えて50 mLとし、比較液とする。検液及び比  
9 較液に硝酸銀試液1 mLずつを加えて混和し、光を避け、5分  
10 間放置した後、黒色の背景を用い、ネスラー管の上方又は側  
11 方から観察して混濁を比較する。検液の呈する混濁は、比較  
12 液の呈する混濁より濃くない(0.248%以下)。

13 (3) 硫酸塩 本品0.5 gを水5 mL及び希塩酸5 mLに溶かし、  
14 水を加えて100 mLとし、必要ならばろ過する。この液20  
15 mLをネスラー管にとり、希塩酸1 mL及び水を加えて50 mL  
16 とし、検液とする。別に0.005 mol/L硫酸1.0 mLをとり、希  
17 塩酸1 mL及び水を加えて50 mLとし、比較液とする。検液  
18 及び比較液に塩化バリウム試液2 mLずつを加えて混和し、  
19 10分間放置した後、黒色の背景を用い、ネスラー管の上方  
20 又は側方から観察して混濁を比較する。検液の呈する混濁は、  
21 比較液の呈する混濁より濃くない(0.48%以下)。

### 22 定量法の項を次のように改める。

23 定量法 本品約0.4 gを精密に量り、希塩酸12 mLを加え、必  
24 要ならば水浴上で加熱して溶かし、水を加えて正確に200  
25 mLとする。この液20 mLを正確に量り、これに0.02 mol/L  
26 エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム液25 mLを正確  
27 に加え、水50 mL及びpH10.7のアンモニア・塩化アンモニ  
28 ウム緩衝液5 mLを加え、過量のエチレンジアミン四酢酸二  
29 水素二ナトリウムを0.02 mol/L硫酸亜鉛液で滴定 (2.50) す  
30 る(指示薬: エリオクロムブラックT・塩化ナトリウム指示薬  
31 25 mg)。同様の方法で空試験を行う。

32 0.02 mol/Lエチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム液  
33 1 mL  
34 =3.442 mg  $\text{CaHPO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$